

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	農道補修整備事業			会計	款	項	目	大	小
				01	06	01	04	02	51
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	農業振興課				
施策	5-4	多様な方面からの農業の振興		主管課長	安蒜 康志				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農作業用道路	意図	作業の安全性が確保され、効率性が高まる。
事業内容	農作業用道路のうち経年等による劣化が著しい個所について修繕等を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	整備対象となる農道は、主に土地改良区を経由して把握した「整備が必要とされる候補地」から優先順位をつけて決定する。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	農作業用道路補修整備延長	13	73.30	59.40	m	→→	路肩陥没修繕
②	農作業用道路における農業用車両事故発生件数	0	0	0	件	↓↓↓		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆市内の土地改良区内のほ場内道路については、完全舗装化が完了しているが、野田南部土地改良区内の深井新田内に未舗装箇所が残っている。 ◆経年劣化により、補修が必要とされる箇所は、毎年発生している。 ◆指標②が0件であることから、道路の構造上の安全性は維持されている。 ◆日々の業務の中で、ほ場内道路の安全確認を行い、補修の必要性を確認している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,053,700	984,400	968,080				
事業費(b)(円)		367,200	313,200	308,880				
うち一般財源		367,200	313,200	308,880				
職員給与費(c)(円)		686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	市道認定を受けている農作業用道路における補修負担の調整。	③取組における課題(Check)	事務処理上の課題はないが、今後も農作業用道路であっても市道の認定を受けている箇所については、その所管についての検討が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	市道の補修を所管する道路管理課と補修が必要となった都度協議を行い、適正な負担区分により農道補修を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	市道の補修を所管する道路管理課との間で効率的な事務執行について協議を行う。